

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見（囑託）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画

- ①職員ミーティング（月1回）時に新規利用者の情報提供を行う。
- ②健康チェックシートなど伝達手段全般の方法の見直し、使い方の検討を行い、情報の共有環境の向上を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①全体会議または午前・午後の日々の申し送りの際、新規利用者の情報提供を行うルールとし、実施した。
- ②伝達手段全般の方法や書式の見直しを行い、昨年度よりも情報共有しやすい環境作りに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	6	4	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	8	2	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	9	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	9	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の申し送りや職員連絡ノートを有効活用：利用者個々に合った介護や支援を共有している。
- ・新規利用者が施設に早く馴染めるため：こまめに自宅訪問したり日々声かけをし、関わりを深めている。
- ・必要な支援：利用者との関わりの中で、良い支援のヒントが得られるように努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・必要な支援、情報について：一時的に入院されている場合など、退院後の生活についての目標や家族の希望など情報が不明確なように見受けられる。訪問サービスの際、支援内容がその都度変化し、戸惑う。
- ・情報共有：引継ぎに参加できない時や、急な支援変更や新規情報が少ないなど、情報の周知が不足する時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

新規利用の方や、利用者の支援内容の変更などの情報収集の工夫、周知する環境の向上に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	0人	10

前回の改善計画

①普段のケア活動、個人記録は目標や支援内容に沿って、実施・記入する。
②目標・支援内容の一覧表を活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

①目標の理解と、目標に沿った支援できるよう努めている。個人記録は書式を改善し、工夫を行った。
②目標・支援内容に沿った実施記録になっていないことが多い。効果的に活用されていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	1	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	4	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティング・申し送り等でケアの振り返りを行う：次の対応、ケアに活かすよう皆が努力している。
- ・本人の目標について：個人記録、ケースに入っており見やすくなっている。
- ・個人記録は：時間・項目と分かりやすく表記。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・個人の介護記録：目標に沿った記録になっていない面がある。職員主体の支援が行われている事がある。
- ・目標、支援内容：実践・記録の時に、今の状況に合っていないと感じる事がある。
- ・職員各自の意識：目標に沿った支援の意識に温度差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ケアプランの目標、支援内容を現在の状態に見合うか定期的に検討を行う事。
- ・個人記録について、検討を行い目標、支援内容に沿った記入内容を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

3. 日常生活の支援

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	1人	2人	10

前回の改善計画

- ①生活の情報シートを作成・活用し、必要な情報を増やして、ケアの向上を目指す。
- ②日々の引継ぎ事項が伝わりやすいように、各種伝達手段の見直し・変更を検討・実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ①生活情報の収集が少ない状況で、自宅や、過去の生活を反映した支援が充分ではない。
- ②健康チェックシートや申し送り書類など書式を見直し、情報伝達環境を向上させた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	8	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	10	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	6	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	9	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	7	3	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・体調の変化や思いに気づいた時：すぐにミーティングで情報を共有できている。
- ・食事の準備、対応：ミキサー食に対応できるよう備品を揃えてもらった。
- ・情報共有による丁寧な支援：健康チェック表、申し送り表の書式、活用法見直して、ケアの質向上に。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・生活の情報シート：不十分または有効に活用できていない。個人メモで申し送りになっている。
- ・個々の状況、気持ちに合わせた支援：事務的な業務も介護と同時進行で行うため、緻密な支援に至らない事がある。
- ・生活環境の理解と情報：利用者家族とのコミュニケーション不足で、聞き取りが難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

生活環境の情報収集や本人の思いについて、支援専門員と相談しながら、ご家族・本人と聞き取りが出来るような機会を設定したり、記入シートの依頼をするなど工夫を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	2人	10

前回の改善計画
①家族や民生委員などから生活の様子を聞き取り、ミーティングを通して共有を図る。 ②地域資源の必要性を学ぶ勉強会を企画・開催する。(自己評価の項目に加える) ③民生委員さんと関わる機会を増やす企画を検討・実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①日々の業務時に、ご家族からある程度の生活の情報収集できており、情報共有化している。 ②評価項目5を作成。企画・開催できなかった。 ③木曜会への介護職員参加など、関わる企画を検討したが、実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	5	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	7	2	10
⑤	地域資源の必要性を学ぶ勉強会を企画する。	0	0	10	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源との関わりに関して：直接関わっていない職員への情報共有について、書式を新たに作成し、活用している。他職員が参加した際の情報を得るよう努めている。 家族からの依頼や支援に必要な情報：伝言ボードや職員連絡ノートの活用で引継ぎ漏れを防止している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族・地域との話し合いに参加していないのでよくわからない。民生委員と関わっていない。 自治体主催の地域資源に関する研修が今年度まだ開催されていない。施設内研修は情報不足で困難。 利用者と、地域資源をうまく結びつけること自体がとても難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の活用に関する知識を得て今後の支援に活用するべく、自治体主催の地域資源に関する研修に参加して、他職員へ伝達講習を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	7人	3人	10

前回の改善計画	
地域資源の必要性を学ぶ勉強会を企画・開催する。(地域資源の情報・かかわりなど)	
前回の改善計画に対する取組み結果	
企画・開催できなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	6	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	6	3	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・柔軟な支援：ニーズに応じた、通い・訪問・宿泊が適切に提供されている。 状況に合わせて、要望・状態に沿った支援が提供できている。職員間で相談して柔軟なケアをしている。 台風接近時や、大雨時など近隣住民と連絡をとりあったりして、地域資源との連携は実施できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・支援の変化：施設から家族へ状態など報告しても適切な対応がされていない事がある。 ・「変化」の気づき：職員の利用者に対しての言葉使いや対応が適切でないと思う時がある。 ・地域資源の活用：施設利用中心の支援になるので、施設⇄自宅だけで支援が完結になりやすい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
多機能性の特徴を活かすため、木曜会や、地域研修活動、地域ケア会議などに施設職員が出席して地域との交わりを増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

6. 連携・協働

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	3人	1人	10

前回の改善計画	地域との関わりに関して、現場職員が実感できるように、地域活動への参加機会の増加を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員不足な事も影響し、連携を実感できるような施設職員の参加機会増加には、至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	6	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	4	4	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	8	0	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	4	1	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との活動やイベントに参加できており、多くのボランティアや園児の方が行事に参加してくれる。 ・法人の木曜会において、自治体、包括センタースタッフも参加しており、他の個別ケアに関する会議においてもケアマネが常時参加している。 ・交流会サロン開催時に、前もって地域の方にチラシを配布する等、関わり機会を増やす努力をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・他関係機関との会議参加：会議に参加していないのでよくわからない。 ・上記①～④に関して：年間通じて施設として参加はしているが、職員不足や夜勤の関係もあり、ケアマネや施設長が関わる形が多い。どうしても一般職員が実感しにくい面がある ・介護職を様々な会議・イベント参加重視にすると、業務やシフトに負担が生じやすい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
他関係機関（福祉用具業者・関係事業所等）との関わりが可能な会議等はケアマネと一緒に参加するなど実感できるよう努める。施設が参加した会議・イベントは、一般職員へ伝達報告する事に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

7. 運営

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	3人	2人	10

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
事業所として、地域包括ケアの推進する地域活動に積極的に職員を派遣し、地域包括ケアの仕組み作りのための活動に参加する。	地域いきいきサロンへ講師として研修派遣行った。(職員各2名、6月・12月の2回参加)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	6	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	7	1	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・運営への反映：木曜会を通して意見を聞き、運営に活かしている。ミーティング時に意見を言えている。・取り組み：地域へ出て研修派遣行った。・苦情に対して：誠実に対応している。・地域からの苦情：利用者の生活に関し、近隣住民の方から苦情数回あったが、反映した支援がなされた。・必要な拠点：防災訓練や祭事、交流会など定期的に取り組んでいる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域活動：職員不足で、地域活動に参加する余裕がない。・施設だけの視点ではなく、地域包括ケアの仕組み作りの段階で地域全体に浸透していない。地域とのつながり作りには努めている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所として、地域包括ケアの推進する地域活動に積極的に職員を派遣し、地域包括ケアの仕組み作りのための活動に継続して参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	7人	3人	10

前回の改善計画	
他の施設見学、倉吉地区の相互研修機会を実現できるように企画・実施する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
企画実施できていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	6	4	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	7	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	5	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・リスクマネジメント：ひやりはっから、改善策に取り組んでいる。 ・毎月の職場内研修：毎回可能な人数が参加している。勤務調整に努めている。 ・連絡会：近隣町内の各種話し合いや、自治体主催の連絡会には、施設長、ケアマネが参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の連絡会：一般職員が参加していない。 ・スキルアップの研修：研修場所が県外など遠い事、休みがとれない。 ・毎月の研修会参加：夜勤が月5～6回ある職員は、日中勤務が少なく、明け・休みが重なりやすい。 ・木曜会などに一般職員が参加する機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
木曜会への一般職員参加に務める。各種研修の内容振り返りと伝達講習の実施を本部と協力して行うよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年12月16日

9. 人権・プライバシー

メンバー 笠原 坂根 津村 松本 中村 道祖尾 西川
三好 浦田 絹見 (囑託)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	1人	4人	10

前回の改善計画	①成年後見制度について、勉強会を実施する。 ②評価状況項目に、「成年後見制度について、勉強会を実施する。」を加える。
前回の改善計画に対する取組み結果	①勉強会を実施した。 ②項目4に作成。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1	1	0	10
②	虐待は行われていない	8	1	1	0	10
③	プライバシーが守られている	5	4	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	3	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	4	0	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・人権、虐待防止、プライバシー保護：よくできていると思う。 ・学習会：春に開催した。学習会開催を項目に加えている。 ・後見制度を適用した利用者はなかったが、他機関の協力を得て適用の準備はできていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・後見制度の必要性を感じる場合があるが、実施されなかった。 ・研修内容の伝達：研修資料保管場所の周知ができていないため、後見制度が全職員に周知できていない。 ・後見制度の適用利用者がいなかっただけで、該当者がいれば活用する体制・準備はできている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修資料の保管場所の周知と、研修テーマ毎の研修記録を本部で作成、各施設に回覧体制を作る。 ・成年後見制度について、勉強会を実施する。 	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

前回の計画を基に取り組んでいる。改善項目も具体的です。
地域の方との交流が難しいようですが、包括支援も協力しますので、担当者会議など日頃から交流できるようにしてみてもいいでしょうか？

【前回の改善計画に対して意見】

運営推進会議を通して、事業所運営報告を分かりやすく、多くの情報が報告できるように努める。勤続年数が短い職員に対し、外部評価の目的や取組み内容について理解を深める。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

色々工夫をこらしておられるようで、今後に期待します。
スタッフさんの顔がわかりません。たくさんおられて・・・
あまりできていない点として、「地域の方とのつながり」は、普段近隣で生活していても難しいです。住民の方も会合などになかなか来ない状況。よほど直接関わりがないと・・・。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

顔写真のスタッフ紹介パネルがあるといいですね。
また改善状況をこの会議で教えて下さい。

【改善計画】

- ①地域との交流に関しては、いきいきサロンの参加の充実を深めるなど、出来る事に取り組む。
- ②職員がわかるように工夫を行う。
- ③自己評価各項目の改善計画実施に努める。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	1	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

働きやすい環境作りは大事です。是非進めていただきたい。
 清潔感があり良い雰囲気です。中に入りやすいと思いました。
 利用者さんも和気あいあいとしていて、これまでわからなかったが、施設の中もとても良い雰囲気でした。
 気になるような臭いはなかったです。日中はいつでも外出が可能ですね。

【前回の改善計画】

事業所の環境向上のため、交通面での安全確保や職員の働きやすい環境作りに取り組んでいく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・昨年意見のあった室内のれんや、施設入口チャイム設置、交差点前の白線引きは検討しました。今のところ必要性がそこまでないため、現状のままです。
- ・近くのコンビニ前でよく事故が起こっているので充分気をつけていただきたい。
- ・施設の食事ですが、柔らかくて味付けもよかったです。食事を大切にされている姿勢を感じました。→1年1回、1週間分の献立を清水病院の管理栄養士に栄養を評価してもらい献立作りの参考にしています。

【今回の改善計画】

- ①事業所のサービス向上のためにも、働きやすい職場作りに努める。
- ②事業所内外の居心地の良い快適な環境の整備に引き続き努める。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・あいさつは良いです。
- ・健推会が近所に知れ渡っているかというところでもないです。
- ・せいとく祭りや会議・行事は参加されています。頑張っていますね。
- ・施設の事を知らない人も多いので、相談しやすいかというところ・・・

【前回の改善計画】

事業所として地域包括ケアの推進する地域活動に積極的に職員を派遣し、地域包括ケアの仕組みづくりのための活動に参加し、地域に信頼される事業所作りに努める。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・今の時代は、地域住民の人同士でもほとんど交流がないので事業所を知らないのも普通です・・・福祉に関係していないと興味がないでしょう。
- ・せいとく祭りはほぼ全員の利用者さんが参加でき、楽しめました。
- ・苦情の相談（ごみ捨て）などで、何度か利用者の住居地域の方や民生委員と関わりました。
- ・サポートハウスから相談事を持ちかけることはあります。

【改善計画】

- ①事業所として祭りや会議など近隣の行事や自治体が推進している地域活動に積極的に
- ②参加を行い、地域と関わって認知度を高める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	0	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・自宅から通う方が多く、散歩や外出同行など外での活動は多いです。→外で活動するのは良いですね。わかりました。
- ・2の会議には参加されていますか。→少ないですが、数回そういった会議はありました。
- ・心配事の相談はあるのですか？→隣のアパートの蜂の巣駆除の相談など何回か。

【前回の改善計画】

事業所として地域包括ケア推進のため、地域ケア会議開催や広報誌・事業所チラシなど印刷物の回覧・配布や地域研修会への講師派遣など積極的に行い、地域包括ケアを啓発していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・宣伝チラシを近くの公民館に置かせてもらおうと良いですよ。見る人が多いみたいですぐにチラシがなくなります。(成徳や上灘、宮川公民館など)
- ・2と4に関して、地域の方に集まっていただく会議がありました。その後を心配されて包括支援センターに連絡をされた住民の方がいらっしゃいました。

【改善計画】

- ①地域ケア会議開催や地域研修会への講師派遣など積極的に行い、地域に出向いて、暮らしを支える仕組み作りに貢献する。
- ②近隣公民館など広報誌・事業所チラシなど印刷物の回覧・配布先を拡充し、地域に知っていただく活動を行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	0	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・写真をたくさん使われるなど工夫されていて、わかりやすいです。
- ・初めての参加ですが、取り組まれている事、運営の状況がよく伝わります。
- ・いただいた提案がとても良いので、すぐに実行させてもらっています。

【前回の改善計画】

地域の一員として施設が果たせる機能を運営推進会議の中で検討する。

- ・運営推進会議の中で、地域の困り事などがあれば検討する。
- ・運営推進会議の中で、事業所の活動や改善進歩状況のなどの報告・説明を行い、委員との交流を深め、気軽に相談をしやすい施設を目指す。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

昨年の外部評価による改善状況の報告を、実際使用している書式を提示して説明を行った。
→しっかり取り組んでますね。書類など細かい部分も見直しされています。
施設内も、職員が情報収集、情報整理がしやすいように工夫されていました。

【改善計画】

- ①運営推進会議の中で、事業所の活動や改善進歩状況のなどの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。
- ②評価の審査書類を工夫する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5	0	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	1	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・災害対策に関しては、昨年の健推会だより18号（9月）に法人としての防災対策情報を全て掲載しております。→資料を提示し、確認していただく。
- ・非常食も準備されているそうで利用者は安心ですね。

【前回の改善計画】

地域との連携を大切にする。防災設備の徹底管理と防災計画についての安心していただける情報を関係者に啓発して、災害時に頼りにされる事業所を目指す。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

台風時の独居利用者などに早めに声かけし、宿泊していただいたりしました。施設だけでなく、近所同士のつながりが重要です。祖母が施設に入所中ですが、説明を聞いて安心してお任せできます。倉吉市の水害時判断「避難勧告」が早い段階で出るので大変です。

【改善計画】

①地域との連携を大切にする。防災設備の徹底管理と防災計画についての安心していただける情報を木曜会での報告や、近隣の方・関係者に啓発して、災害時に頼りにされる事業所を目指す。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人健推会	代表者	清水 文子	法人・事業所の特徴	当法人は平成17年3月設立し、現在グループホーム2施設、小規模多機能型居宅介護1施設、介護老人福祉施設1施設、通所介護1施設を運営している。地域サポートハウスしみずでは通い・訪問・宿泊の3つのサービスを組み合わせて自立生活を支援している。独自サービスとして理学療法士による個別リハビリを行い、住み慣れた地域で暮らすための能力を維持していくための支援に力を入れている。
事業所名	地域サポートハウスしみず	管理者	藤村 寿幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議を通して、事業所運営報告を分かりやすく、多くの情報が報告できるように努める。勤続年数が短い職員に対し、外部評価の目的や取組み内容について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運営報告だけでなく、環境整備やサービス評価改善進捗状況、災害準備やSNS発信情報など、プロジェクトを使用し、運営資料や写真を活用して報告を実施した。 昨年度の職員評価と比較し、「できていない」評価が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の改善計画に関しては色々工夫を凝らしているのがわかりました。 スタッフの人数が多くて顔と名前がわからないので工夫が欲しい。 あまりできていない点として「地域とのつながり」がありますが、同じ地区でも繋がるのが困難な状況ですので、難しい問題です。関係者に協力してもらい、出来る事から活動してはと思います。 今後に期待します。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域との交流に関しては、いきいきサロンの参加者の充実を深めるなど、出来る事に取り組む。 ②職員がわかるように工夫を行う。 ③自己評価各項目の改善計画実施に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の環境向上のため、交通面での安全確保や職員の働きやすい環境作りに取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 交通環境については、必要な機材購入や車両管理・整備を法人全体で行った。 労働環境については、有給休暇の取得義務化・残業時間の上限規制の周知や、残業に対する適切な管理意識や残業代の適正支給など、環境の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設は清潔感があり、入りやすく、利用者さんも和気あいあいとしてとても良い雰囲気でした。臭いも気になりませんでした。 食事も柔らかくて味もよいです。 働きやすい環境作りは大事です。引き続き、努めてください。 	<ol style="list-style-type: none"> ①事業所のサービス向上のためにも、働きやすい職場作りに努める。 ②事業所内外の居心地の良い快適な環境の整備に引き続き努める。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所として地域包括ケアの推進する地域活動に、積極的に職員を派遣する。地域包括ケアの仕組みづくりのための活動に参加し、地域に信頼される事業所作りに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 中部関係機関が協力して行った「いきいきサロン」に、6・12月の2回講師として職員派遣を行った。 地域福祉連絡会や木曜会、個別ケア会議、ケアカフェなど、法人としてほぼ参加しているが、職員配置に余裕がない事や夜開催が多いため、一般職員が活動参加の実感がしにくい現状もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 健推会が近所に知られているかという疑問ですが、住民同士でもほぼ交流がないので難しい状況です。 せいとく祭りや地域の会議、行事は参加しているのがわかりました。 職員の挨拶は良いと思います。 法人の認知度を上げるように検討しましょう。 	<ol style="list-style-type: none"> ①事業所として祭りや会議等近隣の行事や自治体が推進している地域活動に積極的に参加を行い、地域と関わって認知度を高める。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>事業所として地域包括ケア推進のため、地域ケア会議開催や広報誌・事業所チラシなど印刷物の回覧・配布や地域研修会への講師派遣など積極的に行い、地域包括ケアを啓発していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌は、年3回近隣住民の方、関係者に約80部配布。事業所のチラシも近隣店舗や病院などに配布した。12月交流サロンのチラシを、近隣住民の方に配布。 ・上記Cの通り、各種包括ケア推進のため、色々な活動に参加し、啓発に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんが外で活動できるよう配慮されているのは確認できました。 ・近隣地域の方と話し合う機会もあるようです。交流に努めてください。 ・地域に出向く活動の一環として宣伝のちらしを配布されていますが、近隣公民館へ配布するのも良いと思います。 	<p>①地域ケア会議開催や地域研修会への講師派遣など積極的に行い、地域に出向いて暮らしを支える仕組み作りに貢献する。</p> <p>②近隣公民館など広報誌・事業所チラシなど印刷物の回覧・配布先を拡充し、地域に知っていただく活動を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域の一員として施設が果たせる機能を運営推進会議の中で検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で、地域の困り事などがあれば検討する。 ・運営推進会議の中で、事業所の活動や改善進歩状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、気軽に相談をしやすい施設を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が施設と関わる機会を作るための交流サロンの事前告知助言や、独居高齢者への災害や体調不良等、緊急時の関わりや感染症予防など現実的な検討が行われた。 ・報告に関して、長年継続開催されてきたため、内容がわかりやすく、多くの情報が提供できるように洗練されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて、現場での業務改善や各種取組み状況をきちんと報告している。 ・写真をたくさん使用するなど工夫されていて活動が分かりやすい。 ・外部評価の審査書類が多いので、整理して分かりやすくした方が良いです。 	<p>①運営推進会議の中で、事業所の活動や改善進歩状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で支える仕組み作りに貢献する。</p> <p>②評価の審査書類を工夫する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域との連携を大切にする。防災設備の徹底管理と防災計画に関するの安心していただける情報を関係者に啓発して、災害時に頼りにされる事業所を目指す。</p>	<p>防災設備、非常食の備蓄の保守管理は点検、徹底している。広報紙9月号にも法人の災害情報を掲載した。火災、水害対策に関し年数回訓練を行っており、地域の防災訓練、会議に参加。最新情報を収集し、ご利用者の安全確保を最優先にしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設だけでなく、近隣の繋がりが重要です。 ・倉吉市の水害時判断「避難勧告」が早い段階で出るので判断が大変です。 ・説明を聞いて利用者さんを安心して任せられます。 	<p>①地域との連携を大切にする。防災設備の徹底管理と防災計画に関するの安心して頂ける情報を木曜会での報告や近隣の方・関係者に啓発して、災害時に頼りにされる事業所を目指す。</p>